平成 28 年 6 月 17 日
国土交通省水管理・国土保全局
渇水情報連絡室

利根川水系における渇水の状況について

本日のポイント

○渇水の概況

・６月１３日未明より栗橋上流域で総雨量４０㎜程度のまとまった降雨があったことから、利根川上流８ダムの貯水率は６月１３日の３７％より若干回復し、１７日時点では３８％であるが、依然としてこの時期としては過去２５年間(現在の８ダム体制となった平成４年以降)で最小。(貯水率は６月１３日、１７日とも０時時点)

○関東地方整備局の対応

・６月１６日午前９時から利根川、江戸川、鬼怒川、神流川における取水制限開始（１０％）。　※渡良瀬川については、11 日より制限中

○今後の見通し

・関東甲信地方の向こう１ヶ月の降水量は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み（６月１６日 気象庁発表）。

１．渇水の概況

○今年は、利根川水系において累加降雪量が平年の５割程度（藤原ダム地点）と記録的に少なく、雪解けが平年に比べ約１ヶ月早い状況。

○少雪に加えて、５月の降雨量が例年の４８％程度(総雨量５６㎜)と少なかったことから、下流の取水量確保のためのダムからの補給に伴い、ダム貯水量が低下。

○６月１３日未明より栗橋上流域で総雨量４０㎜程度のまとまった降雨があったことから、利根川上流８ダムの貯水率は６月１３日の３７％より若干回復し、１７日時点では３８％であるが、依然としてこの時期としては過去２５年間(現在の８ダム体制となった平成４年以降)で最小。(貯水率は６月１３日、１７日とも０時時点)

２．取水制限の状況

○利根川水系渡良瀬川
　６月１１日（土）９：００～　取水制限（１０％）

○利根川水系利根川、江戸川、鬼怒川、神流川
　６月１６日（木）９：００～　取水制限（１０％）

３．国土交通省の対応

○６月　７日（火）　国土交通省　水管理・国土保全局　渇水情報連絡室設置

○６月１４日（火）　国土交通省　渇水対策本部設置

４．関東地方整備局の対応

○４月　８日（金）第１回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会（春季定例会）

○６月　７日（火）第２回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会開催

○６月１４日（火）利根川水系渇水対策連絡協議会開催

・６月１６日（木）午前９時より１０％の取水制限を実施

・今後利根川上流８ダムの貯水量が１億５千万㎥を下回った場合、翌日の午前９時から２０％に取水制限を強化

○利根川上流８ダムからの補給と下流施設を活用し、利根川水系全体でより効率的な水運用を実施中。

・北千葉導水路※により、利根川下流部から江戸川へ導水（６月１５日は最大１４㎥/s）。

・三郷放水路※により、中川から江戸川へ導水。

・利根川連絡水路※（霞ヶ浦開発施設）により、霞ヶ浦から利根川へ導水。

※上記３水路は、河川の状況に応じ導水を実施

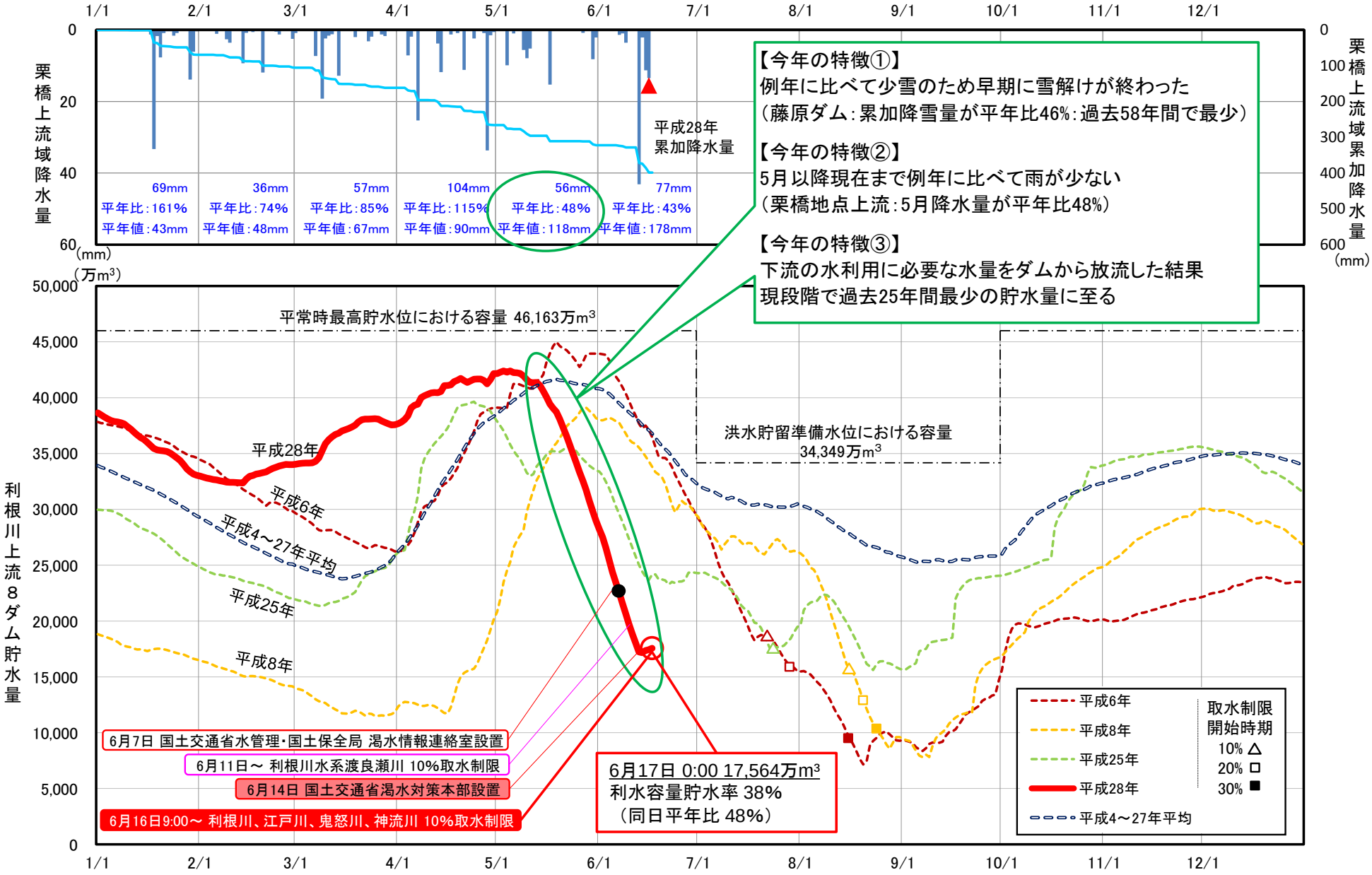
５．今後の見通し

○関東甲信地方の向こう１ヶ月（６月１８～７月１７日）の降水量について、期間のはじめは少雨の状態が続くところがあり、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。

（６月１６日 気象庁発表）

利根川上流８ダム貯水量履歴図

平成28年6月17日0時現在

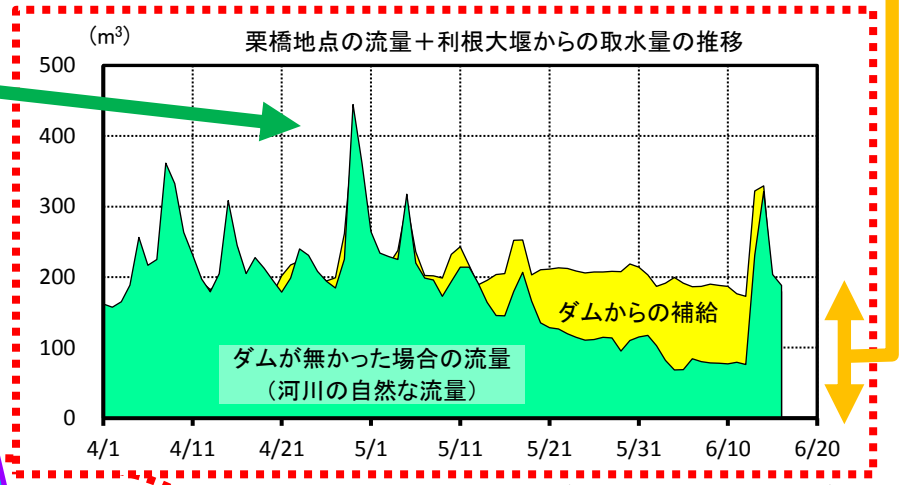


利根川上流8ダムからの放流と取水との関係

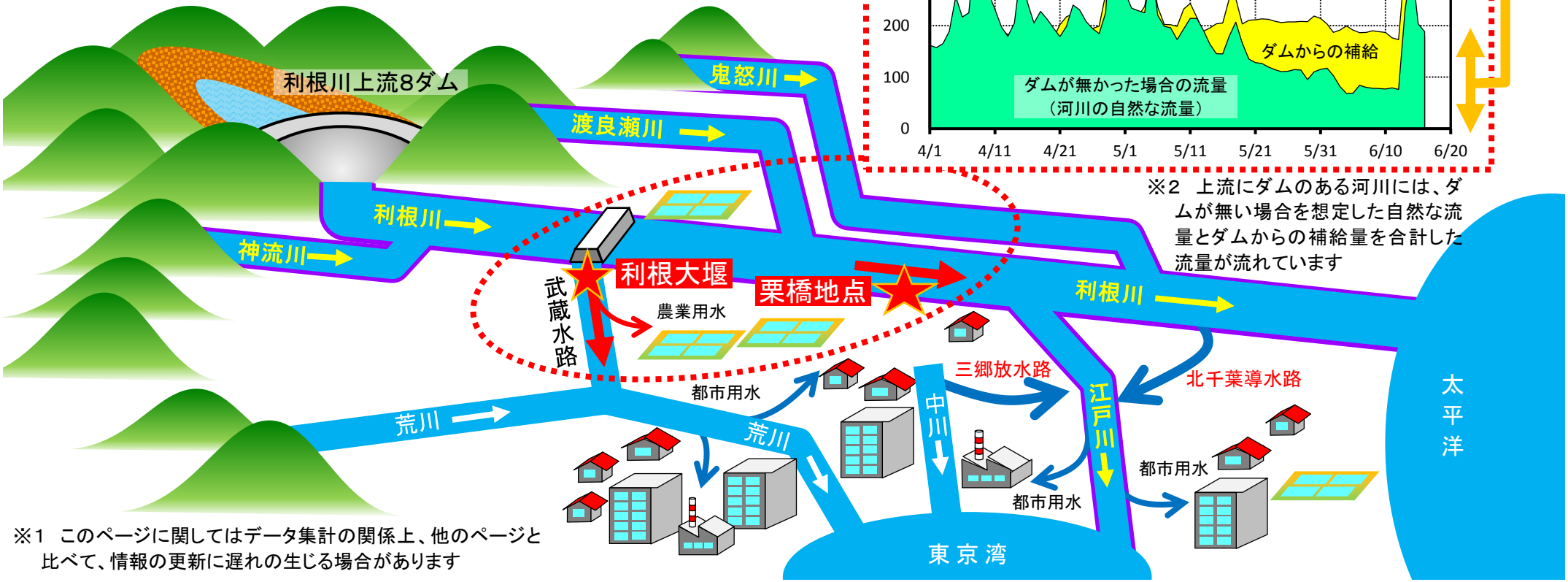
平成28年6月16日現在　※1

利根川・江戸川・荒川3河川の水需要に対して、必要な取水量を確保するため、**利根大堰からの取水量と栗橋地点での流量を合わせ、一定の流量の確保が必要**※2

【今年の特徴③'】
5月以降の小雨により、河川の自然な状態での流量が減少したことから、**下流の水利用に必要な水量をダムより補給（放流）した結果、ダムの貯水量が急速に低下**



※2　上流にダムのある河川には、ダムが無い場合を想定した自然な流量とダムからの補給量を合計した流量が流れています



※1　このページに関してはデータ集計の関係上、他のページと比べて、情報の更新に遅れの生じる場合があります